

第 39 回 建設業経理士検定試験

1 級 財務諸表 模範解答（弥生カレッジ＋GPT）

会計アカデミー 独自解答（2026 年 9 月 13 日作成）

※本試験問題の写真をもとに作成した独自の模範解答です。公式解答公表前のため、最終的には公式解答・解答速報と照合してください。

第 1 問 資産評価（20 点）

問 1 取得原価と時価基準

【模範解答】

取得原価とは、資産を取得するために支出した対価を基礎として資産を評価する額であり、取得後の価格変動による未実現損益は原則として認識しない。これに対して時価基準は、決算時点の市場価格等によって資産を評価し、取得原価との差額を損益または純資産に反映させる。取得原価は客観性・検証可能性に優れる反面、価格変動時には現在の価値を示しにくい。

【採点キーワード】取得時の支出額／客観性・検証可能性／価格変動を原則反映しない／時価は決算時点の価値を反映

問 2 割引現価

【模範解答】

割引現価とは、将来受け取る、または支払うと見込まれるキャッシュ・フローを、その発生時期までの貨幣の時間価値やリスクを反映した適切な割引率を用いて、現在時点の価値に換算した金額である。将来キャッシュ・フローに基づいて資産または負債を評価する方法である。

【採点キーワード】将来キャッシュ・フロー／割引率／貨幣の時間価値／現在価値

第 2 問 株主資本（14 点）

空欄	用語	記号
①	株主資本	サ
②	資本剰余金	ア
③	払込資本	セ
④	留保利益	ク
⑤	利益準備金	エ
⑥	繰越利益剰余金	タ
⑦	任意積立金	コ

第3問 正誤問題（15点）

問題	判定	修正	理由
1	B	③ 明瞭性 → 秩序性	正規の簿記の原則の記録要件は、網羅性・検証可能性・秩序性。
2	B	① 単一性 → 明瞭性	財務諸表の表示について利用者への理解可能性を確保するのは明瞭性の原則。
3	B	③ 5年以内 → 3年以内	株式交付費を繰延資産とした場合、株式交付の時から3年以内に定額法で償却。
4	A	修正なし	自己株式の処分差益はその他資本剰余金として純資産の部に計上。
5	A	修正なし	$600,000 \div 3 \text{年} \times 6/12 = 100,000 \text{円}$ 。

第4問 連結会計（15点）

S社の簿価純資産： $99,500 - 58,000 = 41,500$ 千円

S社の時価純資産： $103,000 - 59,600 = 43,400$ 千円

評価差額： $43,400 - 41,500 = 1,900$ 千円

非支配株主持分： $43,400 \times 25\% = 10,850$ 千円

P社持分： $43,400 \times 75\% = 32,550$ 千円

のれん： $33,750 - 32,550 = 1,200$ 千円

設問	解答（千円）
問1 評価差額	1,900
問2 非支配株主持分	10,850
問3 のれん	1,200

第5問 精算表（36点）

1. 決算整理計算

① 機械装置

当期減価償却費 = $270,000 \div 10 = 27,000$ 。水没した 1 台の帳簿価額 = $90,000 - 36,000 = 54,000$ （固定資産除却損）。残る 2 台の帳簿価額 108,000 に対し割引前 CF102,000 < 108,000 のため減損を認識。回収可能価額 92,100 まで切り下げ、減損損失 15,900。

② 投資有価証券

償却原価法による増額 = $(80,000 - 78,800) \div 3 = 400$ 。有価証券利息 = 2,800。償却原価 79,200 に対し時価 78,900 なので評価差額△300。税効果 90、その他有価証券評価差額金△210。

③ 長期貸付金

$30,400 \div 152.00 = 200$ 千ドル。 $200 \times 158.30 = 31,660$ 。為替差益 1,260。長期貸付金期末額 81,260。

④ 退職給付引当金

予定額 = $920 \times 12 = 11,040$ 。実際額 10,953 との差額 87 を未成工事支出金から減額。販管費分 1,725 を追加。期末引当金 269,891。

⑤ 工事進行基準

累計原価 555,000、進捗度 74%。変更後契約額 $940,000 \times 74\% =$ 累計収益 695,600。第 2 期までの累計収益 369,600。したがって当期完成工事高 326,000。期末完成工事高 762,200、完成工事未収入金 460,200。

⑥ 完成工事補償引当金

必要残高 = $762,200 \times 0.5\% = 3,811$ 。追加額 2,547。未成工事支出金 = $261,540 + 27,000 - 87 + 2,547 = 291,000$ となり、当期工事原価 291,000 と一致。完成工事原価 = 619,200。

⑦ 貸倒引当金

電子記録債権 $52,600 \times 3\% = 1,578$ 。完成工事未収入金 $460,200 \times 2\% = 9,204$ 。必要残高 10,782。既存 3,521 との差額 7,261 を繰入。

⑧ 税効果・法人税

損金不算入 $3,500 \times 30\% =$ 繰延税金資産 1,050。その他有価証券評価差額金△300 $\times 30\% = 90$ 。繰延税金資産合計 1,140。税引前当期純利益 12,462。課税所得 15,962、法人税等 4,788、未払法人税等 1,788。法人税等調整額 1,050（貸方）。

⑨ 当期純利益

$12,462 - 4,788 + 1,050 = 8,724$ 千円。

2. 精算表完成値

勘定科目	残高 借	残高 貸	整理 借	整理 貸	損益 借	損益 貸	B/S 借	B/S 貸
現金預金	2,895						2,895	
電子記録債権	52,600						52,600	
完成工事未収入金	164,600		295,600				460,200	
貸倒引当金		3,521		7,261				10,782
未成工事支出金	261,540		29,547	291,087			0	
仮払法人税等	3,000			3,000			0	
機械装置	270,000			105,900			164,100	
減価償却累計額		81,000	36,000	27,000				72,000
土地	130,000						130,000	
投資有価証券	78,800		400	300			78,900	
長期貸付金	80,000		1,260				81,260	
その他諸資産	6,241						6,241	
工事未払金		286,300						286,300
未成工事受入金		30,400	30,400				0	
完成工事補償引当金		1,264		2,547				3,811
退職給付引当金		268,253	87	1,725				269,891
その他諸負債		11,950						11,950
資本金		250,000						250,000
資本準備金		33,000						33,000
利益準備金		19,000						19,000
繰越利益剰余金		10,300						10,300
完成工事高		436,200		326,000		762,200		
有価証券利息		2,400		400		2,800		
雑収入		10,362				10,362		
完成工事原価	328,200		291,000		619,200			
販売費及び一般管理費	56,249		1,725		57,974			
その他諸費用	9,825				9,825			
固定資産除却損			54,000		54,000			
減損損失			15,900		15,900			
為替差益				1,260		1,260		

貸倒引当金繰入額			7,261		7,261			
その他有価証券評価差額金			210				210	
繰延税金資産			1,140				1,140	
未払法人税等				1,788				1,788
法人税、住民税及び事業税			4,788		4,788			
法人税等調整額				1,050		1,050		
当期純利益					8,724			8,724
合計	1,443,950	1,443,950	769,318	769,318	777,672	777,672	977,546	977,546

検算：整理記入 769,318 = 769,318 / 損益計算書 777,672 = 777,672 / 貸借対照表 977,546 = 977,546

会計アカデミー

建設業経理士 1 級 合格講座

キャンペーン実施中

財務諸表・原価計算・財務分析の 3 科目を、基本講義＋過去問ゼミで効率よく学習。理論添削、YouTube ライブ講座、月 2 回の無料質問会、試験直前オンライン合宿など、合格までの学習をサポートします。

講座	現在の掲載価格（税込）
3 セット合格パック	38,500 円
2 セット合格パック	28,600 円
1 科目合格パック	18,700 円

詳しい講座内容・最新のキャンペーン情報はこちら

<https://kaikei-academy.com/kensetsutop-1/>



スマートフォンのカメラで QR コードを読み取ってください。

会計アカデミー

※価格・キャンペーン内容は変更される場合があります。最新情報は上記 Web サイトでご確認ください。

建設業経理士1級・合格プログラム

① 基本講義 (オリジナルレジュメ) 財務諸表24回 原価計算18回 財務分析17回	各平均 45分
② 過去問ゼミ TAC出版「合格するための過去問集」もご利用ください 各10～19問&20問以降追加難点 27～36問の個別難点を追加 最新の過去問集に掲載されていないものは問題と解答がダウンロード可能です	8時間+
③ 理論対策 (財務諸表6時間・原価計算3時間) 概説書の記述問題をワザワザ解説	
④ 添削 オンライン添削会	
⑤ オンライン合宿	
⑥ 財務分析3問・4問強化塾	
⑦ 意思決定強化塾(過去問研究)	
⑧ 概説書解きまくり講座	
⑨ 概説書索引&練習問題 徹底解説	
⑩ スマホ学習ツール (スマホではじめる建設業経理士1級)	
⑪ ライブ質問会 (月2回)	



建設業経理士1級 3セット 合格バック

35,000円 (税込: 38,500円)

28,000円 (税込: 30,800円)

建設業経理士1級 2セット 合格バック

26,000円 (税込: 28,600円)

20,800円 (税込: 22,880円)

建設業経理士1級 (財務諸表) 合格バック

18,000円 (税込: 19,800円)

14,400円 (税込: 15,840円)

建設業経理士1級 (原価計算) 合格バック

18,000円 (税込: 19,800円)

14,400円 (税込: 15,840円)

建設業経理士1級 (財務分析) 合格バック

17,000円 (税込: 18,700円)

13,600円 (税込: 14,960円)

オンライン添削会付きで
この価格!!!



32,000円 (税込: 35,200円)

23,000円 (税込: 25,300円)

15,000円 (税込: 16,500円)

15,000円 (税込: 16,500円)

14,000円 (税込: 15,400円)

9月末まで **キャンペーン①** 価格

10月末まで **キャンペーン②** 価格

安くても内容充実